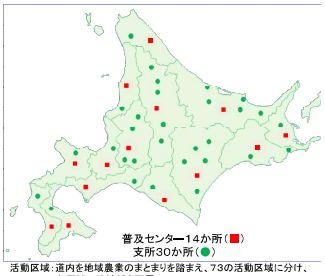
北海道の普及事業の概要　　資料1

1　農業改良普及センターの設置

北海道農業改良普及センター条例に基づき、(総合)振興局ごとに普及センターを設置。現在、14の農業改良普及センター及び30の支所を設置。



活動区域：道内を地域農業のまとまりを踏まえ、73の活動区域に分け、各区域に地域係を配置

普及センター(■)	支所(●)	活動区域数
空知	空知南東部、空知南西部、中空知、北空知	9
石狩	石狩北部	4
後志	北後志	5
胆振	東胆振	3
日高	日高西部	3
渡島	渡島北部	4
檜山	檜山北部	2
上川	富良野、大雪、士別、名寄、上川北部	12
留萌	南留萌	2
宗谷	宗谷北部	2
網走	清里、網走、美幌、遠軽、紋別	11
十勝	十勝東部、十勝京北部、十勝北部、十勝西部、十勝南部	10
釧路	釧路東部、釧路中西部	3
根室	北根室	3
14	30	73

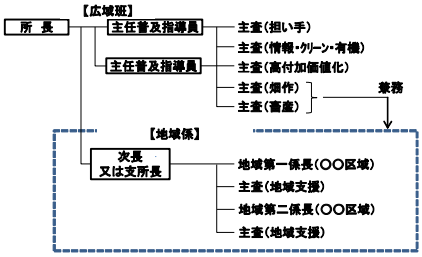
2　農業改良普及センターの活動

農業改良普及センター地域班及び支所には、全道73の活動区分ごとに地域係を設置し、複数の専門分野(水稲・畑作・園芸・畜産など)の地域担当を配置し、地域に密着した計画活動及び要請活動を展開。

計画活動は、地域係(73係)ごとに地域課題や普及課題を重点化した活動を展開し、その成果を関係機関と連携し、地域全体へ波及する普及活動を展開している。

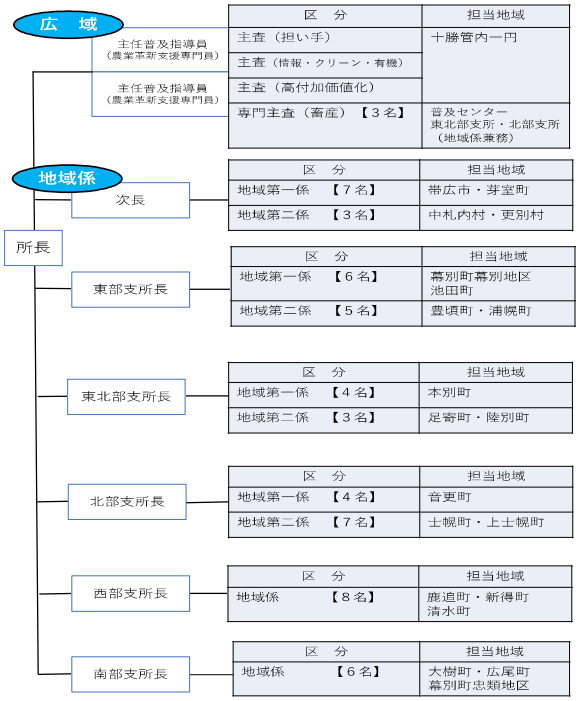
広域班では、高度で多様な課題解決を迅速に行うため、広域的に専門活動を展開。また、地域対応力強化のため、必要に応じて地域班を兼務する。

3　農業改良普及センターの組織機構



十勝農業改良普及センター活動体制

令和7年4月1日現在



令和７年度　課題別普及活動計画

1　地域課題一覧

課題番号	課題名(関連事業)	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
1	若手農業者（アグリカレッジ受講生）の育成	・若手農業者の農業基礎知識習得と受講生の新たな仲間作り (現況68%→目標75%)	帯広市 芽室町 中札内村 更別村	新規就農者 女性農業者 研修生等	水上主査 元木専普 清水専職 高橋普職 小林普職 島田普職	R7
2	○若手農業者を核とした持続的農業の確立	・作物生産性の向上 秋まき小麦の収量向上 追肥技術定着農業者 (現況４戸→目標６戸)	帯広市	若手農業者（９戸）	宮原係長 水上主査 福島専主 廣瀬専普 元木専普 清水専職 高橋普職 川原次長	R3～R7
		・若手農業者の経営能力向上 経営管理技術の習得 生産費削減農業者 (現況０戸→目標２戸)		経営シミュレーション実施農業者（５戸）		
3	後継者グループの持続的活動支援	・プロジェクト活動担当者の満足度向上 プロジェクト活動満足度 (現況80%→目標100%)	芽室町	芽室町農村青年連絡協議会（５名）	高橋普職 元木専普	R7
4	新たな高タンパク質粗飼料導入による飼料自給率向上（飼料用大豆・高栄養TMR生産調製技術の実証・普及事業）	・飼料用大豆（WCS）の栽培および利用方法の検討 飼料用大豆の乾物収穫量 (現況　150kg/10a→目標300kg/10a)	帯広市	川西地区畜産農家（栽培・給与１戸　給与１戸）	宮原係長 水上主査 廣瀬専普	R7

課題番号	課題名(関連事業)	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
5	○次世代につなぐ持続可能な地域農業の確立	・ほ場の生産性向上 生産費に基づくほ場管理対策の実践（ダイズシストセンチュウ対策実践農家 ０戸→０戸→２戸） ・地域リーダーとなる農業者の経営管理能力向上 経営改善目標の達成（改善目標達成農家　０戸→10戸→12戸） ゲノム検査による牛群改良目標の達成（交配計画実施農家　０戸→３戸→３戸）	更別村	勢雄地区（22戸）	二宅係長 星専普 小林普職 寺田主査 川原次長	R3～R7
6	畑作物の生産性向上（中札内村地域担い手育成総合支援会議事業）	秋まき小麦の栽培技術改善 可変施肥の実施農家戸数 （現況０戸→目標４戸）	中札内村	中札内村秋まき小麦栽培農家(84戸)	星専普 小林普職 三宅係長	R7
7	乳牛の飼養管理改善による生産性の向上	計画乳量の達成 達成農家戸数 （現況０戸→目標３戸）	中札内村	中札内村酪農家（３戸）	三宅係長 寺田主査 星専普	R7

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
8	次代を担う農業者の育成	若手農業者の農業基礎知識の理解 農業基礎知識の理解度（受講者理解度５段階評価平均　現況０　→目標4以上）	池田町 幕別町 豊頃町 浦幌町	ヤングファーマーズ受講生	成田専主 久保普指 髙橋専普 金子普指	R7
9	小豆コンバイン収穫体系の合理化	コンバイン収穫に適した栽培方法の普及推進 新品種の検討、品種特性に応じた栽培方法の検討（現況０戸→目標１戸）	幕別町	JA幕別町畑作事業部会（220戸）	成田専主 三上係長	R7
10	○地域の持続的発展を目指した農業経営の確立	法人経営安定化 円滑な運営のための取り組み 改善項目数（現況８個→目標12個） --- 農業経営能力の向上 経営能力向上 経営診断実施者（現況３戸→目標４戸）	池田町	協業法人（１法人） --- 大森青年団（８戸）	三上係長 澤崎主査 成田専主 小澤専普 藤本専普 金子普指 大平　支所長	R3～R7
11	地域の存続をかけた農業経営の検討	持続的な地域農業を目指した検討会の開催（検討会 目標０回→１回）	池田町	昭栄地区（11戸）	三上係長 澤崎主査 成田専主 藤本専普 金子普指	R７
12	○円滑な経営継承による地域農業の発展	・畑作物の高位安定生産技術の定着 適正施肥の実践 施肥改善事例数（現況６事例→目標10事例） --- ・後継者の資質向上 目標管理技術の向上 管理技術改善戸数（現況１戸　→目標２戸）	豊頃町	畑作物栽培農家（６戸） --- 酪農家（２戸）	真喝係長 三浦主査 橋下専普 沼宮内　専普 服部専普 髙橋専普 久保普指 大平　支所長	R3～R7

5

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
13	○持続可能で生産性が高い農業の推進	小豆の高収量栽培技術の波及 ・小豆の高収量栽培技術の導入農家戸数（実践内容：土壌物理性の改善・排水性の改善・土壌診断に基づく適正施肥・開化期前追肥の実施）（現況４戸→目標５戸） ・倒伏防止技術実践農家戸数（適正株数、雑草対策）（現況０戸→目標３戸）	本別町	仙美里東地域（７戸）	寺西係長 森貞専主 堀内専普 末永専主 浦部　支所長	R3～R7
14	土壌分析値を活用した安定生産	・土壌診断値に基づく適正施肥の実践農家戸数（現況４戸→５戸）	本別町	玉ねぎ栽培農家（10戸）	堀内専普 寺西係長	R5～R7
15	ばれいしょ安定生産体系の確立	・栽培方法の検討 栽植密度試験実施（現況２カ所→目標２カ所） ・種子は場抜き取りにかかる現地検討会 実施回数（現況０回→目標３回）	足寄町	ＪＡあしょろばれいしょ生産部会（20戸）	田川専普 沖田係長	R6～R7
16	○自給飼料基盤の強化による経営の安定化	・乳牛の飼養管理改善 分娩前後の飼養管理改善 実践農家戸数（現況２戸→目標３戸） ・粗飼料の収量性向上 鳥獣害対策の実践 くくり罠設置農家戸数（現況０戸→目標１戸）	陸別町	陸別町南陸別地区（７戸）	沖田係長 田川専普 山本普職 金子主査 浦部　支所長	R3～R7

6

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
17	若手農業者の育成（地域担い手対策事業）	・若手農業者の農業基礎知識の習得による資質の向上（十勝北部畜産ゼミナールの満足度　現況89%→目標92%）	音更町	北部３町における酪農畜産就農５年目程度の後継者や配偶者、農場従業員（93戸）	黒川係長 小川主査 笠井係長 倉富専職	R6～R8
18	○持続可能な作物の高位安定生産の展開	・秋まき小麦の安定生産に向けた栽培技術の確立（施肥体系改善農家　現況３戸→目標４戸）（は種量適正化農家　現況４戸→目標５戸） ・作物の高位安定生産に向けた取り組み（土壌物理性改善農家　現況５戸→目標７戸）	音更町	瑞穂地域（９戸）	黒川係長 函館専普 古川普指 飯田専職 熊谷支所長	R3～R7
19	ブロッコリー栽培における高温被害の低減	・高温栽培条件で発生するロス低減技術の実証・導入（対策実施農家　現況０戸→目標３戸）	音更町	音更町ブロッコリー運営協議会（60戸）	黒川係長 古川普指	R7
20	秋まき小麦の安定生産技術の定着	・安定多収技術の平準化（管内平均収量以上達成者の増加　現況34.6%→目標50%）	士幌町	士幌町麦作連絡協議会（218戸）	街道主査 中　専普 古坐普職	R7～R8
21	消化液の更なる活用による生産性向上	・消化液の活用による低コスト生産支援（消化液の活用実証試験の実施　現状１試験→目標４試験）	上士幌町	消化液活用志向農家（５戸）	笠井係長 街道主査 古坐普職	R7
22	○安定生産を実現する効率的な農業の構築	・畑作物の安定生産技術の普及（土壌診断に基づいた施肥対応実践農家戸数　現況４戸　→目標４戸）	上士幌町	幸福地域（６戸）	笠井係長 街道主査 中　専普 鈴江普指 倉富専職 古坐普職 小川主査 熊谷支所長	R3～R7

7

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
23	は育管理技術の向上	・は育管理技術向上志向農家における適正なは育管理の実践 は育管理チェックリストに基づいた改善実践農家（現況０戸→目標２戸）	新得町	新得町は育管理技術向上志向農家（４戸）	新妻専職 納谷専普 遠藤専普 濱本係長	R7
24	青年農業者の営農資質向上	・青年農業者の営農資質向上 営農課題の解決に取り組む青年農業者（現況０名→目標６名）	鹿追町 新得町 清水町	西部支所管内の青年農業者	濱本係長 納谷専普 酒井専普 遠藤専普 新妻専職	R7
25	秋まき小麦（きたほなみ）の安定生産に向けた適正は種の推進	・適正は種による秋まき小麦の生産性向上 Ｒ８産秋まき小麦適期は種実践ほ場割合（現況22%→目標50%）	清水町	清水町秋まき小麦生産者（123戸）	酒井専普 濱本係長	R7
26	○大規模化に対応する持続的な地域農業の推進	・さらなる向上をめざした酪農経営の実現 家畜ふん尿の有効利用した牧草・飼料作物施肥体系の定着（現況３戸　→目標５戸） 適切な牛群管理による繁殖成績の向上（空胎日数150日以下　現況３戸→目標５戸） ・畑作物の生産性維持 春作業チェックリストを活用した直播てんさい及びばれいしょ安定生産技術の実践 直播てんさい（現況０戸→目標６戸） ばれいしょ（現況０戸→目標３戸） 輪作の現状把握と問題点の整理（現況０戸→目標３戸）	鹿追町	東瓜幕地域（14戸）	濱本係長 今野主査 納谷専普 前野専普 酒井専普 太田専普 遠藤専普 新妻専職 角川支所長	R3～7

8

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
27	自主性の高い酪農後継者の育成	・自主学習グループの設立（現況０組→目標２組） ・自主学習グループにおける改善項目の明確化（現況０％→目標50%）	大樹町 広尾町 幕別町 忠類	南とかちアグリスクール受講生（30名）	福岡専普 田中専普 佳野普指 東　普職 富永普職 曽根係長	R7
28	小豆施肥改善による収量向上	・施肥改善試験ほの設置（現況０ほ場→３ほ場）	大樹町	大樹町畑作農家（３戸）	東普指 曽根係長	R7
29	黒毛和牛の飼養管理改善による生産性の向上	・飼養管理改善（現況10戸→13戸）	大樹町 広尾町 幕別町 忠類	改善志向和牛農家（15戸）	富永普職 川口支所長	R7
30	ヨーネ病予防対策技術の波及	・改善項目の明確化（発生農場全戸） ・モデル農場の選定（現状０戸→２戸） ・新たな予防技術導入（現況０戸→６戸）	広尾町	ヨーネ病発生農家	住野普指 曽根係長 川口支所長	R7
31	○助け合いシステムの拡充による生産力の向上と担い手の定着	・サイレージ用とうもろこしの栽培技術改善　収量と品質向上のための改善モデル実証（現況17圃場→目標17圃場　地域へ波及） ・農場内の課題解決による計画乳量の達成　乾物摂取量向上等による生産ロスの低減（現況２戸→目標7戸、地域へ波及）	幕別町 忠類	新生・豊成地区農場（７戸）	曽根係長 福岡専普 田中専普 佳野普指 東　普職 富永普職 川口支所長	R3～R7

課題番号	課題名（関連事業）	具体的推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間
32	市場データの活用による黒毛和種素牛市場性の向上	黒毛和種牛の飼養管理改善（飼養管理改善農家戸数　現状３戸→目標５戸）	音更町 士幌町 上士幌町	黒毛和種牛繁殖農家52戸	小川主査 地域第一係 地域第二係	R7
33	和牛一貫経営の栄養及び飼養管理改善による市場性向上	市場性の高い和牛肥育牛の出荷枝肉重量（去勢）515kg以上農家戸数（現況０戸→目標１戸）	更別村	更別村（１戸）	寺口主査 本所地域第二係	R7
34	和牛若手生産者組織の育成	・足寄和牛のPR活動推進（町内での牛肉販売　０回→１回）	足寄町	足寄町和牛研究会（14戸）	金子主査 東北部支所 地域第二係	R7

２　広域推進事項一覧

業務区分	推進事項名（関連事業）	普及対象又は主たる対象市町村	担当者
担い手	経営感覚を備えた担い手の育成	新規就農者 女性農業者 法人従業員 支援組織従業員 研修生	中野主査 本所・各支所担当者
	多様な担い手の確保	管内農業高等学校生徒 農業大学校学生	
	組織内人材確保、育成の支援	管内農業生産法人 管内支援組織　等	
情報・クリーン・有機	普及情報の収集および共有化の推進	普及センター職員	森主査 本所・各支所担当者
	ホームページの内容充実と積極的な情報発信の推進		
	有機農業者実践者への支援	管内農業者	
	ＧＡＰ取組支援	管内農業者等	
	各種情報収集	普及センター職員	
高付加価値化	高付加価値化活動実践者および志向者の活動支援	高付加価値化活動実践者・志向者	平田主普 本所・各支所担当者
	高付加価値化活動情報の収集・整理および提供		